

## 平成28年4月26日 会頭記者会見 発言要旨

### 時事の話題

#### ■熊本地震について

熊本地震で犠牲になられた方のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げたい。また、昼夜を問わず救援活動に従事する多くの関係者のご努力に敬意を表したい。本所では、役員・議員企業を対象に熊本地震に伴う企業活動への影響についてヒアリングを行った。回答のあった企業のうち約半数が、サプライチェーンなどにおける支障があるという回答があり、熊本県や大分県に拠点を置く京都企業だけでなく、現地に仕入先や取引先をもつ企業などにも何らかの影響があることがわかった。本所は日本商工会議所と連携して義援金を募ることとしているが、本所としても被災地の1日も早い復旧・復興と企業活動の平常化に向けて、できる限りの支援を行っていくつもりだ。

平成27年度の訪日外国人観光客数が初めて2,000万人を超えたものの、地震の影響による訪日客の減少が懸念されている。関連する産業が多岐にわたる観光産業は復興の大きな力となるに違いない。余震が落ち着き、被災者の生活や避難所の環境が改善されていくことが最優先であるが、被災を免れた各地域から、観光振興で九州を、日本を元気にできるような取り組みが必要だ。7月には全国商工会議所観光振興大会が京都で開催されるので、本所としてはその場で九州観光を応援するブースを設けるなどの対応を検討している。

### 京都商工会議所の動き

#### ■京都・観光文化検定試験について

12月11日に実施する今年の京都検定の概要が固まった。今年は6年ぶりに公式テキストの改訂を行い、「新版 京都・観光文化検定試験公式テキストブック」として6月下旬の発売を予定している。祇園祭の後祭巡行が7月24日に戻されたことや、石清水八幡宮の国宝指定など、前回の改訂以降にあった変更点を反映するとともに、内容の充実を図っている。

今回の公開テーマは、3級が旅行者の案内で外せない「京のおみやげ」、2級は今年山科区が区政40周年を迎えることから「山科・小野・醍醐」、1級のテーマは「京の七口と街道」とした。

昨年は、6年連続の受験者増のほか、京都市教育委員会のご協力により、無料受験制度を中学生に加えて高校生まで拡大いただいたことで、多くの学生の皆さんにも挑戦いただいた。今年も京都市民・府民をはじめ、企業などの団体受験、全国の京都ファンの方々に受験いただきたい。

#### ■女性の活躍推進に向けた取り組みについて

今月1日から「女性活躍推進法」が全面施行された。提出が義務付けられている301人以上の企業については、法に基づき計画策定に取り組んでいると思うが、努力義務である300人以下の事業所では、4月1日現在、京都府内ではわずか16社にとどまっており、本所としてもその底上げが必要であると感じている。本所女性会では、昨年7月に特別委員会を設置し、女性の活躍推進に向けての現状分析と課題抽出を図るため、報告書を取りまとめた。従業員の女性比率を高めるためには、社会環境の整備と会社の支援が不可欠であり、特別委員会では、そのための課題を、それぞれのステージ毎で検討してきた。さらにライフサイクルの視点で捉えると、「情操教育の見直し」、「少子化の改善」、「1億総活躍社会の実現」、「社会保障の充実」も女性の活躍と併せて、解決すべき大きな課題であることも浮き彫りとなった。本所としても、昨年3月にオール京都体制で設立された「輝く女性応援京都会議」の構成団体として、引き続き、中小企業への行動計画策定のための支援やモデル企業の創出に取り組んでいきたい。

## 記者からの質問事項

### ■熊本地震のヒアリング調査について、京都の経済・企業への打撃はどれくらいあるのか。また、影響はどれくらいまで続きそうか。

影響の規模等について、まだ具体的なものが出てきているわけではない。現状は、現地企業との部材の取引・仕入の面で影響があることや、地元企業の生産再開の見通しがわからないということであり、具体的な影響はこれからのこととして捉えている。

### ■先ほどお話された観光振興大会はいつ、どこで行われるのか。九州のPRブースを設けることについて、具体的なことは後日ご案内いただけるのか？

日本商工会議所と京都商工会議所が主催する全国商工会議所観光振興大会は、7月11日～13日にかけて、岡崎のロームシアター京都などで開催される。そこでどういう九州支援をしていくかについては、日本商工会議所と一緒に検討していくことになるが、本所としてはその場を活用して、被災地への支援につなげたいというのが現時点での考えである。

### ■熊本地震の義援金について、もう少し具体的なことを教えてほしい。

本日4月26日付で募金を開始する。本所の役員議員をはじめ、会員企業へFAX等でご案内する。義援金は日本商工会議所を通じて、被災地の商工会議所・商工会議所連合会に寄贈する。

### ■熊本地震の影響についてのヒアリング結果について、回答企業は何社あったのか。

150社を対象に調査を実施し、100社から回答があった。その約半数が何らかの影響があったと回答している。

### ■北陸新幹線のルートについて、与党の検討委員会の中間報告で大阪の終着駅が新大阪駅になるという報道が一部であったが、これについて会頭のご意見を伺いたい。

まだ正確に情報を得ていないが、基本的には京都駅さえ通れば良いという考えだ。敦賀以西のルートは「舞鶴経由京都駅ルート」、「米原・京都ルート」、「小浜・京都ルート」の3つの優先度や課題を比較して決まっていくことになると思うが、北部地域の振興や、インバウンドの観光客を舞鶴で迎え入れること、将来的に山陰新幹線につなぐことを考えれば、舞鶴を経由するルートが望ましいのではないかと。

### ■北陸・関西連携会議では、今後どういう交流を図っていくのか。今後の見通しがわかれば教えてほしい。

年内には、敦賀以西のルートが決まるという時間軸のなかで、昨日の北陸・関西連携会議で決議された共同アピールを国などに提案していくが、要望を具体的にしていくことで受け取る側の理解が得られるのではないかと。

### ■京都検定が13回目を迎え、受験者のリピーターも多いようだが、今後更に受験者の増加を目指すために検討していることがあれば教えてほしい。

これまでいろいろと打つ手は打っており、今回のテキスト改訂による受験者数への影響をみて判断していきたい。

以上

## 第13回京都・観光文化検定試験実施概要

試験日 平成28年 12月11日(日) ※12月第2日曜日固定

試験会場 【京都】 京都市内の大学等 【東京】 東京の大学等  
中高生チャレンジ会場：京都商工会議所・市内中学校・高校

### 団体申込

申込期間 9月1日(木)～10月31日(月)

受験料 1級：5,190円／2級：3,460円／3級：2,600円

※団体受験料はのべ10名以上で適用、10名未満の場合は一般受験料

中学校・高等学校の自校開催は3級：1,620円

### 一般申込

申込期間 9月1日(木)～11月7日(月) ※昨年より2日短縮

申込方法 ①インターネット ②コンビニ端末 ③郵送

受験料 1級：6,480円／2級：4,320円／3級：3,240円

### 受験資格

- ・学歴・年齢・性別・国籍等の制限はありません
- ・1級試験の受験は、2級合格者に限りませ

### 試験級

1級 京都全般に関する「高度な知識レベル」

<制限時間> 90分

<出題> 記述式：語句・穴埋め問題60問以内・小論文5問以内

<合格> 80%以上の正解をもって合格

2級 京都全般に関する「やや高度な知識レベル」

<制限時間> 90分

<出題> 四者択一100問以内

<合格> 70%以上の正解をもって合格

3級 京都全般に関する「基本的なレベル」

<制限時間> 90分

<出題> 四者択一100問以内

<合格> 70%以上の正解をもって合格

## ○使用テキスト

**新版 京都・観光文化検定試験公式テキストブック**（6月下旬発売予定）

**京都・観光文化検定試験公式テキストブック 増補版**（従来版）

の両方（共通範囲）を使用する

**出題範囲** 歴史・史跡、神社・寺院、建築、庭園、美術、伝統工芸、伝統文化、花街、祭と行事、京料理、京菓子、ならわし、ことばと伝説、地名、自然、観光  
京都に関すること全般

★今年度は「新版」を発売することから、「新版」及び従来の「増補版」の共通範囲より3級：90%、2級：70%を出題、1級は共通範囲に準拠して出題。なお、新たに「新版」にのみ記載される事項をテキスト外（共通範囲外）として出題することはある。

## ○第13回の公開テーマ（第10回から設定）

**〔3級〕京のおみやげ**

**〔2級〕山科・小野・醍醐**

**〔1級〕京の七口と街道**

### 公開テーマ設定のねらい

- ・京都検定をより楽しく勉強していただくために、事前にテーマの一部を公開することにより、取り組みやすくする。
- ・テーマを絞ることにより、テキスト以外の参考資料を探したり、現場へ出向いたり、積極的な勉強を促進することができる。
- ・エリアテーマの場合、受験者の観光行動に結びつく可能性がある。

### 【参考】前回まで（第10～12回）のテーマ

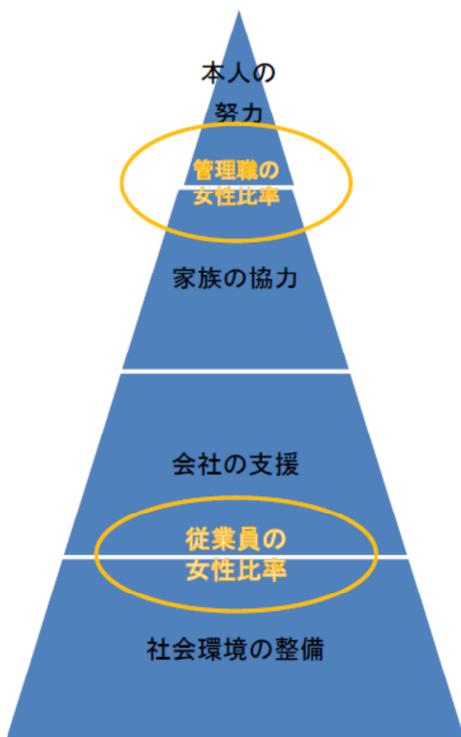
<第10回>	3級 「京都“花の名所”」	10問
	2級 「洛北：大原・八瀬・比叡山」	10問
	1級 「京都と映画」	10問
<第11回>	3級 「伏見・宇治」	10問
	2級 「京の食文化」	10問
	1級 世界文化遺産「古都京都の文化財」	10問
<第12回>	3級 「洛西：嵐山・嵯峨野・乙訓」	10問
	2級 「琳派」	10問
	1級 「京都の三大祭」	10問

京都商工会議所女性会「女性の活躍推進特別委員会」報告書（抄）

京都商工会議所女性会では、「女性の活躍推進特別委員会」（委員長：中西たえ子）を平成27年7月に設置し、女性の活躍推進に向けての現状分析と課題抽出を図るため、①時代背景の確認、②現状の分析、③各社の取り組み、④課題と対策などについて5回にわたり協議・検討をおこない、このほど報告書を取りまとめた。

本女性会では、本報告書に基づき、「輝く女性応援京都会議」の構成団体として、同会議で採択された4つの行動宣言に積極的に取り組むこととする。

課題と対策（まとめ）

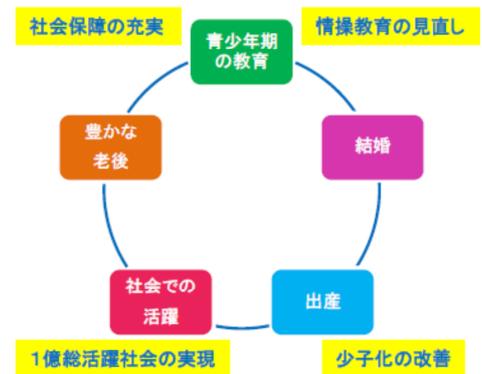


- ・自己研鑽
- ・資格の取得（英会話・簿記など）
- ・心身の健康維持

- ・男性の家事・育児の分担
- ・両親の支援

- ・人事制度（時短・フレックス・在宅勤務・定時退社・年休・育休など）
- ・子育て終了後の復帰制度（再雇用）の拡充
- ・交代要員の確保（業務の平準化、補助金）
- ・研修の充実
- ・公平な人事評価
- ・企業内託児所・保育所の設置
- ・組織力の強化（信頼・協力・思いやり）

- ・女性が働きやすい雰囲気づくり
- ・配偶者控除の見直し（103万円の壁）
- ・社会保障制度の見直し（130万円の壁）
- ・女性雇用促進企業に対する優遇税制の実施
- ・託児所・保育所の整備（潜在保育士の掘り起こし等）
- ・病児保育施設の設置



委員構成

- 委員長 中西たえ子（株式会社鼓月 取締役会長）
- 副委員長 川勝 依子（株式会社アナテック・ヤナコ 代表取締役）
- 委員 西村 明美（柘家株式会社 取締役）
- 山本 祥古（株式会社日野屋 専務取締役）
- 田中 峰子（西陣暮らしの美術館 富田屋 代表取締役社長）
- 梅谷 康子（株式会社プロアシスト 専務取締役）
- 遠藤久美子（遠藤久美子税理士事務所 所長）
- 谷 里美（株式会社藤林商店 代表取締役）